

# こんにちは

NO.1 2012年 1月

発行 日本共産党・平戸町、平戸 1~5 丁目、  
品濃町地域支部・TEL 045-823-9211 伊藤  
連絡先 045-865-0074 (ほっと戸塚)

## 放射線量を測定しました



測定する岩崎議員

岩崎ひろし事務所では、戸塚区内の放射線量を測定しました。公園などは子どもたちがよく遊ぶところを測定しましたが、いずれの地点も横浜市の再測定・除染の目安を下回っています。これからも希望があれば測定しますのでご連絡ください。

### 東戸塚地域の測定結果 2011.12/20 天候晴・無風

測定ポイント	地上1cm	地上1m	
平戸3丁目山王山公園遊具付近	0.042	0.042	数値は時間当りの
同 落葉吹き溜まり	0.048		マイクロシーベルト
平戸4丁目一里塚公園 木の下	0.052	0.048	
フィットネス東戸塚近くの歩道際	0.060	0.061	
川上遊水地付近	0.110	0.094	最高値 0.136

横浜市の再測定・除染の目安は、地上1mで0.23マイクロシーベルト/hです。機子区滝頭の市環境科学研究所の地上23mでの測定=2009年度の平均値は0.022、事故後の2011年3月16日は0.150、現在は0.030前後で推移。

<数値は測定器のメーカー(種類)で差があります>

昨年(2011年)は東日本大震災・福島第一原発事故や、台風による大洪水など日本列島に未曾有の被害を及ぼしました。二〇一二年は、何よりも、平和で安心・安全、人間らしく暮らせる社会を取り戻していきたいましよう。

# 迎春



## 歴史散歩

### 境木のお地蔵さん

保土ヶ谷から旧東海道を歩いてきて、権太坂を登り切り、暫く歩くと眺望の良い峠の様な所に差し掛かります。ここは昔、武蔵と相模の国境でした。このあたりには「立場=たてば」と呼ばれた茶店が数件あり、古の旅人はここで一休み、雄大な富士山を眺めながら、熱いお茶と牡丹餅や団子を食べ、旅の疲れをいやしました。立場のすこし先の階段を上ると、お堂があって大きな「お地蔵さん」が優しい表情で佇んでいます。これが御本尊の「境木地蔵」です。旅人にとっては道中の守り神として、地元の子どもにとってはこの庭が格好の遊び場でした。

このお地蔵さんが、今では東戸塚にある他の神社やお寺と並んで「初詣」でにぎわい、おそらく、その中で一番人気ではないかと思うくらい、正月三が日の初詣客が長い行列をつくっています。(大晦日には甘茶がふるまわれます。)私たちの子供の頃はさびれたお地蔵さんでしたので驚きばかりです。

近くに、投げ込み塚、代官屋敷、焼き餅坂、品濃一里塚等があります。(T・H)



境木地蔵尊

## みんなの声・こえ・声

### 電々団地へのミニバス乗り入れを!

「電々団地(平戸4・5丁目)内への東戸塚駅からのミニバスの乗り入れをしてほしい。数年前、電々町内会から市への請願交渉寸前で反対の声があって取りやめになりました。その後さらに高齢者も増え、敬老パスも有効に使えるので、早く実現してほしい」  
(裏面参照)

### 違法駐輪をやめて!

「品濃町534-19と平戸4丁目36-18前、環状2号線を渡る歩道橋が近くにある狭い旧東海道の自転車道を止めていく人があとをたちません。歩行者も車も通過するのに障害になり非常に困っています。違法な駐輪を無くす対策を要望します」

(裏面に関連記事あり)

### 東戸塚駅に湘南新宿ラインの全停車を

東戸塚駅の混雑解消については、以前から申し入れています。混雑時にホームのエスカレーターを上下変更などが行われ、少しは緩和されています。しかし乗降者が増えており、湘南新宿ラインの快速も含め全停車、さらに東海道線の停車を要望します。

## 投稿

# 東日本大震災被災地支援活動に行ってきました

3月11日の東日本大地震では、東北から関東にかけての太平洋側の各地が多大な被害を受けました。とりわけ、岩手、宮城、福島は東北3県は大津波の被害で多くの方々がなくなり、いまだに行方不明の方々も大勢おられます。又、福島県は東電の福島第一原発の事故の終息がいつになるか予測できない状況で、県民の不安は今後もずっと続き、復旧の目途が立ちません。

昨年10月17, 18, 19の3日間、平戸から2人と戸塚区の他の地域から3人、合わせて5人で宮城県石巻市へ支援活動に行っていました。

石巻市中里の救援センターで他地域からの支援者たちと合流、20数名で近くの仮設住宅に居られる被災者の方々に全国から送られた善意の贈り物(米、野菜、日用品、衣類、食器他)をお届けするのが主な活動でした。

救援センター近くの倉庫にはそうした品々がうず高く積み上げられていて、それらを仕分けすることにも従事しました。

被災者の方たちの要望は食糧、日用品等の消耗品が一番多かったです。衣類や毛布等は一通り行き渡ると受け取り手がなくなるので、送られても貯まる一方となり倉庫がふさがってしまいます。一番ありがたいご寄付はやはり浄財であり、次は米や野菜などの食料品のようです。

活動後に石巻、女川、気仙沼、南三陸、陸前高田の津波の被災地を視察しました。港からはるか遠くに流された大きな漁船、横倒しになったビル、公民館の屋上に載せられたバス等、そして街が消えてしまった陸前高田市。被害状況は映像、画像では何度も見ていましたが、それらを目の前にしますと声も出ないくらいの衝撃でした。自然はどうしてこんな酷いことをするんだと、改めて自然の怖さを認識しました。

今回の支援活動のために多くの方々から浄財、お米、日用品などが寄せられました。ご協力ありがとうございました。頂いたものは全部被災地の皆さんにお届けしてまいりました。

なお、支援活動は、冬になると路面が凍結するので車で行くのが困難になるので3月まで出来ません。3月から再開しますので、ボランティア御希望の方のご参加を呼びかけさせていただきます。

(長谷川・平戸三丁目)



## 違法駐輪の解決目指して

旧東海道・平戸 4-36-18—Sさん宅前の狭い道(福寿観音脇・東戸塚駅迄の跨道橋入口)に、東戸塚駅東口利用者、オーロラモールやスーパーに買い物に行く人が歩道橋手前の該当地番付近に自転車を違法駐輪していきます。

周辺住民はもとより、駅へ行く人たちにとっても大変邪魔で迷惑この上ありません。更に旧道で狭いとはいえ、車も通るので危険です。

環2沿いに駐輪場はあるのですが、降りるのが面倒で、Sさんの家のフェンスの前に迷惑を承知で置いて行きチェーンまでかけて行く者もあります。



これまで、そこに住むSさんが団地自治会や岩崎議員を通じ市土木局・警察などに再三申し入れ、団地自治会からも行政に再三申し入れていました。

昨年暮になって、市土木から、地域振興課から予算を出してもらって看板をつくるようにしたいと連絡があり、1月17日にSさんに、「看板を立てることが決まった。環2の駐輪場も整備する、ゆくゆくは違法駐輪は撤去する」との連絡がありました。

看板を立てても守らない人がいては、解決になりません。「違法駐輪をしない、させない」をみんなで守っていきましょう。

### 電々ミニバス要求について申し入れに対する戸塚区役所の「回答」

岩崎ひろし事務所  
「神奈中としては、『ミニバスの運行は採算が取れないので、ミニバスでの路線新設は計画しない』とのことであつた。バス路線新設は、地元沿線住民の総意として、バス事業者に働きかけることが必要。事業者は、採算がとれる見込みが、判断基準になる。区としては、地元と事業者の仲立ちの役割を果たしたい。」(2010・8月)

ちなみに平和台のミニバスは黒字路線です。

高齢化でミニバス導入の要求は強くなっていますが、電々自治会では、以前の苦い経験から「一人も反対者がないように」しないと働けないようです。

今年から、地域新聞「こんにちは」を再刊します。  
皆さんのご意見・投稿など、ぜひお寄せください。